

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【オン】地域振興論		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

これからの時代が明るくなることを信じて希望を切り拓こうと、全国各地域で「地域振興」に取り組む人たちがいる。地域振興とは、「地域の問題を解決すること」や「地域を元気にすること」であり、地域活性化、地域創生、地域づくりとも呼ばれる。この授業では、地域の構造と現状・課題について、「社会構造」「経済産業構造」「政策構造」の3つの側面から理解する。その上で、全国各地域の具体的な事例をもとにして、地域振興のあり方を理論的かつ実践的に学ぶ。さらに、地域づくり団体の設立と活動の実践的ノウハウも学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、地域振興の具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。特に、担当教員が実際に地域振興の活動に携わった事例、あるいは調査研究で関わった事例を主に取り上げることで、リアリティを持って理解できるようにする。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	担当教員は、シンクタンク企業や民間非営利組織10団体以上に所属して、地域振興に関わる実践活動や国・自治体の政策形成に携わってきている。そうしたことから、それらの具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等、地域振興とは何か	<input type="checkbox"/>
第2回	地域振興の概要	地域振興がなぜ必要か、地域の構造と担い手、地域振興の方法、地域データの見方	<input type="checkbox"/>
第3回	地域の社会構造と現状・課題	都市・農山漁村・離島の特性、人口動態、地域資源、地域コミュニティ、事例等	<input type="checkbox"/>
第4回	地域構造と地域振興の事例(1)	地域構造と現状・課題。島根県海士町(小さな島の挑戦～最後尾から最先端へ～、行財政改革、島のブランド化、島留学・移住定住)	<input type="checkbox"/>
第5回	地域構造と地域振興の事例(2)	地域構造と現状・課題。新潟県長岡市(今瀬ゼミ「とちお祭への裏方参画と調査・情報発信」(長岡市と今瀬ゼミの協働事業))	<input type="checkbox"/>
第6回	地域の経済産業構造と現状・課題	産業構造(企業の業種・規模)、所得構造(地域間の格差)、物価、地域イノベーション、事例(愛知県等)等	<input type="checkbox"/>
第7回	地域構造と地域振興の事例(3)	地域構造と現状・課題。徳島県上勝町(料理の”つまもの”の葉っぱビジネス、ごみゼロ・ウェイスト運動、「日本で最も美しい村」連合)	<input type="checkbox"/>
第8回	地域構造と地域振興の事例(4)	地域構造と現状・課題。新潟県燕市・三条市(金属加工業の地域産業集積、地域イノベーションによる事業転換400年の歴史)	<input type="checkbox"/>
第9回	地域の政策構造と現状・課題	自治体の行政・財政、自治体と国の関係、公共サービス、事例等	<input type="checkbox"/>
第10回	地域構造と地域振興の事例(5)	地域構造と現状・課題。東京都神津島村(“もったいない資源”の繋ぎ合わせからの創生、協働による神津島創生)	<input type="checkbox"/>
第11回	地域構造と地域振興の事例(6)	地域構造と現状・課題。長野県売木村(愛知東邦大学との連携地域、600人の村づくり、走る村プロジェクト、観光、山村留学等)	<input type="checkbox"/>
第12回	地域構造と地域振興の事例(7)	地域構造と現状・課題。災害時・非常時の地域振興(新型コロナウイルス、東日本大震災(浦戸諸島)、京都府「災害時連携NPOネットワーク」等)	<input type="checkbox"/>
第13回	地域づくりの団体設立ノウハウ	地域づくり団体を立ち上げるための実践的ノウハウ	<input type="checkbox"/>
第14回	地域づくりの活動ノウハウ	地域づくり活動を行う計画立案・運営の実践的ノウハウ	<input type="checkbox"/>

第15回	地域構造と地域振興の事例(8)	様々な地域振興（高松市商店街、南房総市道の駅、遠野市移住定住、豊岡市コウノトリ等）	□
------	-----------------	---	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（1時間程度）、事後に授業での学びを整理すること（3時間程度）。授業中にしっかりとメモ（ノート）を取った上で、学んだことを自身の言葉でしっかり整理すること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから、自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	知識の理論的な学習と具体事例の実践的学習により地域振興の現状・課題、具体的な取組みなどを理解・説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中のレポートで評価。各回レポート提出をもって出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
2		
3		
4		
5		